

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称

施策I-2-1
売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

畜産課長 川津章弘

電話番号

0852-22-5132

事務事業の名称	畜産公共事業		
目的	(1) 対象	肉用牛担い手農業者等	
	(2) 意図	飼料基盤の整備や家畜保護施設の設置及び家畜排泄物の地域リサイクルシステムの構築などを行うことにより地域畜産の担い手育成や畜産主産地としての体制づくりを行い、畜産の持続的発展と地域の活性化を図る。	
事業概要	放牧を中心とした低コスト肉用牛生産を実施するために放牧場を整備し、肉用牛の担い手を育成する。隠岐地域における自給飼料確保を行い、肉用牛生産基盤を確保する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・隠岐島後地区：（平成24年度～29年度）全体事業費458,452千円。肉用牛振興に必要な放牧場や畜舎などを整備 ・隠岐島前Ⅱ地区：（平成26年度～30年度）全体事業費464,000千円。肉用牛振興に必要な放牧場や畜舎などを整備。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	放牧頭数	目標値	3,795.0	3,860.0	3,930.0	4,000.0	頭数
	式・定義	当該年度による放牧等数	取組目標値					
			実績値	3,735.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	放牧場整備面積	目標値	5,730.0	5,760.0	5,790.0	5,820.0	ha
	式・定義	当該年度による放牧場面積	取組目標値					
			実績値	5,696.0				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	97,287	159,688
うち一般財源(千円)	18,287	20,149

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基いた現状）

<p>草地基盤を整備し、肉用牛の自給率向上を進めてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隠岐島後地区：（H24～27）放牧林地用整備58.1ha、道路整備3397m、用排水湿雪整備2か所、雑用水施設整備3か所、施設用地造成整備0.25ha、隔障物整備10805m、家畜保護施設整備1棟、家畜排せつ物処理整備1棟、放牧馴致施設整備7か所 ・隠岐島前Ⅱ地区：（H26～27）草地造成0.37ha、草地整備0.42ha、野草地整備45.2ha、雑用水施設整備2か所、隔障物整備8124m、家畜保護施設整備1棟、放牧馴致施設整備1か所
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>放牧面積が拡大。 隠岐島後地区、島前地区において、野草地整備と放牧林地整備により30.2haの放牧地が増加し、新たに30頭が放牧可能な面積を整備した。</p> <p>法人等での肉用牛増頭が進んでいる中、自給飼料基盤が着実に増加しており、肉用牛の低コスト生産基盤をさらに確保していく。</p>
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <p>隠岐島後地区 放牧実施予定地の不在地主が多く、権利調整に時間を要し、放牧地整備については遅延している。</p> <p>隠岐島前Ⅱ地区 長期に事業を実施しているため、ノウハウもはっきりしており、特に問題はない。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者が複数存在し、中には所有者が県外在住の場合もあり、調整に時間を要する。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期に放牧適地を選定し、地元情報を集約する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり、早期に放牧適地をしほりこみ地元調整を行いながら、事業実施していく。 ・当初設定した用地において、調整がつかない場合は代替地を確保し、事業計画変更を行いながら効果的な事業実施を行っていく。
--

9. 追加評価（任意記載）

--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。